

2021年9月01日

一般社団法人日本国際オープンウォータースイミング協会

理事長 篠崎 豊

コロナ感染対策について

(1) 3密を避けることを踏まえた事業計画

本事業のスイムレースを通じて自然環境に配慮し、参加者に健康と安全を提供することを目指している
のであるが、今回はコロナウイルスという過去経験のない現象や症状が発令され人が危険にさらされて
いる。そこで本事業を推進するにあたっては過去のやり方を一新させ3密(密閉・密接・密集)を避けた大
会運営を実施する新しい事業を計画して行うことを約束する。

3密を防ぐための具体策：

- ① 参加者数の制限(最大 130 名に限定して出場を認める)
- ② 団体種目の取り止め(大声を上げたり騒ぐ原因となるイベントを中止します)
- ③ 70 歳以上の高齢者の参加を見合わせる(感染危険が高い年代を避ける)
- ④ 会場設営の工夫: 入り口を設営し、そこから選手だけを入場させる。その際に必ず一人ずつ検温
チェックを行う。(万一疑似感染者が出た場合には出場を止めさせる)



- ⑤ 更衣室の廃止。(特設の更衣室は設営しない。各自・各チームごとに簡易テントを持参し、その中
で更衣及び休憩をとる) Keep Distance
- ⑥ 選手と応援者・見学者を区分する(見学者・応援者はビーチサイドに降りられない)
- ⑦ トイレでの更衣を禁止する(限られたトイレでの更衣は絶対にしないこと)
- ⑧ 掲示物の廃止(選手名簿の掲示を止める)選手が密になる可能性がある場所を作らない。その
代わりとして SNS を利用したウェブを利用した掲示を行い、選手は携帯電話にて確認が可能。
- ⑨ 招集場所の制限(キープディスタンスを護ったスペースで招集を行い一度に 20 名を限度とする)
(例)
- ⑩ スタートは一度に最大 20 名とする

スタートラインは図のように 10 名プラス 10 名の 20 名を一度のスタートラインに立たせる



- ⑪ 選手の結果は掲示せずに SNS を利用してインターネット上にアップする
- ⑫ 競技を終えた選手から順次熱海スパへ向かい館内指示に従い入浴する。(希望者のみ)
- ⑬ 会場を去る時は各自必ず自分のゴミは自身の責任で持ち帰ることを約束する。

(2) 実施日までの感染予防対策案

実施までは各選手とも自主管理となるのでそれぞれ個人・所属クラブなどを通じて感染予防に努めても

らうこととする。そして大会会場でのコロナ対策を十分説明し事前に予防策となるような(例:簡易テント購入・マスク・消毒液の用意など)ものを準備して備えていただくこととする。

(3) スタッフ、関係者の健康状態の管理体制

スタッフ・関係者の健康状態の管理については毎日検温チェックを通し健康状態の把握に努め、万一 37.5 度以上の熱がある場合にはすぐに医師の相談を行い、必要ならば検査を医師の指示に従って行うことを誓約する。特に大会の前後 1 週間の健康状態はすべて表にしていいつでも提出・報告できる体制を作っておくこと。

会場での運営スタッフの感染対策について

1、スタッフのマスク着用の徹底



○会場内での選手対応時のマスク着用を徹底しています。

2、スタッフの手指消毒・手洗いの強化



○選手対応ごとまたは定期的に手指消毒や手洗いを実施致します。

3、スタッフの体調管理



下記のいずれかの症状がある場合は会場に来ないで自宅にて安静にするよう指示しております。

■37.5℃以上の発熱がある ■風邪症状が4日以上続く ■体がだるい ■息苦しい ■味覚や嗅覚に異常がある

4、会場設備の消毒



通常の清掃に加えて会場の受付カウンターや計測用チップの設備・備品の消毒も行います。

5、集団感染を防ぐ措置

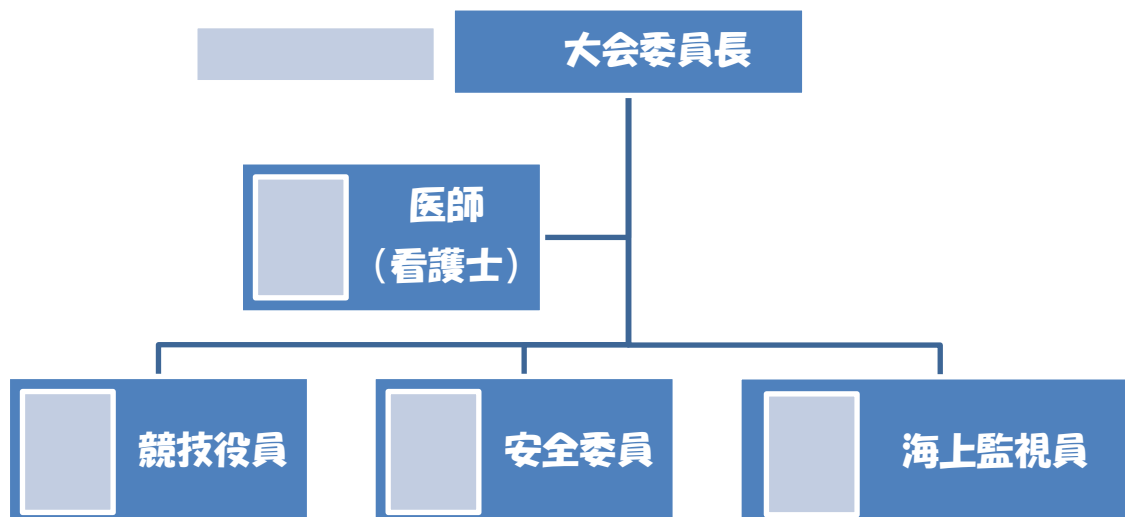


集団感染のリスクが高まるとされる3密条件が揃わないよう努めます。

3密にひとつでも該当するスペースの使用禁止

(4)事業実施中及び実施後に感染者が発生した場合に備えての組織図

感染者が発生する場合に備えて大会期間中、大会委員長を長とする組織を構成して運営にあたる。



(5)体調不良者または感染者が発生した場合の対応策

マニュアル:(感染者が大会会場で発生した場合)

- 看護師をチーフとした感染防止チームが会場での参加者チェックを怠らずに行う。
- 体調の悪い者や明らかに感染症状を示した者は当日会場に常駐する熱海医師会派遣の医師に相談し指示を仰ぐものとする。
- 医師の判断により、搬送が必要との決断をした場合にはすぐに感染防止チームによって厩舎の要請及び搬送病院へのコンタクト行う。(派遣医師による通信連絡)
- 搬送準備と同時に大会の継続は無理と判断し、大会を速やかに中止する。

(6)中止基準

■スィムレースの中止基準

本大会規則及び大会安全基準に準じるが、おおむね以下の通り。

- ①レース前に雨や風により、海水浴場が遊泳禁止になった場合。
- ②レース中であっても地震や津波の発生により、危険が伴うと判断されたとき。
- ③水温が摂氏18度以下又は風速が海上で10m又は白波が立つ状態になった場合。
- ④万一参加者中から重大事故が発生した場合、第二次災害を防止するためにレースを速やかに中断し、競技の上続行無理と判断した場合に速やかにレースの中止を宣言する。
- ④のほか港長の指示があった場合。
- ⑤ **ロナ感染者が大会会場で発生した場合又はその疑いで体調不良者が出て医師(または看護師)が感染濃厚と判断した場合。**

それ以外に突発的な事態が生じた場合、実行委員と競技役員が協議を行い判断する。

レースを中止する権限を実行委員会には保有します。